

2009年度

科目名	ゼミナール I			
担当教員	開沼 太郎			
配当	教福3		コード	33730
開期	通年	講時	水曜日3限	単位数 4
授業テーマ	学校教育の現状や理論的／制度的課題、新たな教育実践などについて考察を深める。			
目的と概要	学校を取り巻くさまざまな教育課題を対象に、学校教育の現状や問題点の認識を出発点として、教育の理論的課題、教育制度や教育政策の展開、新たな教育実践などについて、各自の興味関心をもとに検討する。同時に、研究および教育の技法の向上を目指すべく、報告や調べ学習の中で情報機器の活用をはかる。			
成績評価法	演習への関与(出席状況、発言・報告内容、課題提出など)をもとに総合的に評価する。 試験は実施しない。			
テキスト	講義時に指示する。 必要に応じて配付資料やオンライン資料などを利用する。			
参考書	講義時に適宜指示する。			
履修に当たっての注意・助言	※ 授業では、コンピュータや携帯電話(情報端末)など、情報通信機器を積極的に活用する予定である。受講者には専門的な技術や知識は必要ないが、主体的かつ積極的な活用姿勢を望みたい。			
講義計画				
<p>内容は、学校教育に関するテーマを中心に、初回のオリエンテーションにて受講者各自の関心を参考に決定する。 授業は個人もしくはグループによる報告に基づいて進める。文献解題や調査報告、これらに基づいたプレゼンテーションと相互評価を中心とする予定である。</p> <p>テーマは学校教育に関するものを中心に、各自の関心に基づいて決定する。 「いじめ」や「不登校」、「学級崩壊」のような「学校教育病理」に関する課題や、「総合的な学習の時間」、「教育の情報化」、「開かれた学校」などの新たな教育実践に関する検討など、教育制度や教育方法、教育内容をはじめとしたさまざまな理論的・実地的なテーマについて理解を深めるような内容で進める予定である。</p> <p>内容は、「教育」に関するテーマを中心に、初回のオリエンテーションにて受講者各自の関心を参考に決定する。 授業は「調べ学習」と、個人もしくはグループによる「報告(発表)」に基づいて進める。</p> <p>前半期(1～8)は、施設見学や文献解題などを通じて学校教育の現状や制度、問題点などをよく「調べ」、「意見交換」し、「理解」することを目指す。</p> <p>後半期(9～15)は、受講者で構成するグループの興味や関心に基づいた調査報告と意見交換を中心とする予定である。</p> <p>基本的に、各自が興味関心に基づいて決定したテーマに沿って研究報告を行い、参加者全員で考え、話し合い、理解を深めることによって互いの関心の共有を目指す。卒業研究に向けて自身の問題意識を明確にするため、授業には積極的な姿勢で臨むよう期待する。</p>				